



令和7年1月4日
目黒区立中央町保育園 園長

明けまして おめでとうございます

本格的な寒さが到来していますが、冷たく澄んだ空気が清々しく夜空がきれいに見える季節になりました。お迎えにいらしたおうちの方と一緒に夜空を見上げて、きれいな星や飛行機の灯りを見つけて会話が弾む子どもたちの姿をよく見かけます。

新しい年を迎え、園内には子どもたちの元気な声が響いています。久しぶりに会う子どもたちの顔つきは凛々しく、年末年始のお休みはご家族で充実した時間を過ごされたのではと感じています。

先日、事務所前の階段から「がんばって～」とつくし組の保育士の声が聞こえてきました。様子を見に行くと、つくし組の子どもたちが後ろ向きに四つ這いで会談を下りている所でした。保育士の励ましを受けて下まで辿り着いた子どもたちは、保育士に拍手されて嬉しそうに自分でも拍手しています。頑張った自分を拍手し喜ぶ姿は、自己肯定感の育ちへと繋がります。ありのままの自分を好きでいられることが心の強さとなり、これからの長い人生の中で自分を支えてくれます。子どもたちが豊かな経験やたくさんの人たちとの関わりの中で自己肯定感を育み、健やかに成長していけるよう保育を進めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

《今月の予定》

乳児お楽しみ会

お店屋さんごっこ（1日目）

お店屋さんごっこ（2日目）

0歳クラス懇談会

中旬

避難訓練・身体測定



2月の懇談会日程

1歳児クラス

2歳児クラス

4歳児クラス

3歳児クラス

*中町保育園との統合説明会

（中央町保育園 ホールにて）

健康教育を行っています

看護師がその時々クラスの子どもの姿に合った健康教育を行っています。

先日は5歳児クラスで**メディア脳**について話しました。スマートフォンやゲームを沢山使うことで脳がどうなるのか伝え、「お家でルールを決めよう」と話しました。子どもたちは見過ぎると脳が真っ黒になることに驚いていて、早速お家でも話してくれたようでした。



今後行われる
クラス懇談会の中で、
メディア脳について
お話する予定です。

リズム遊びの様子

リズム遊びを乳児はクラスごと、幼児は異年齢で楽しんでいます。活動の中で「発達に合わせた運動を行い、体の機能を育てる」「体で表現することでリズム感を養う」「みんなで遊び、楽しむことで仲間意識を育む」といったことを大切にしながら行っています。

今回は2歳児クラスと幼児クラスのリズム遊びの様子をお伝えします。

どんぐり組（2歳児クラス）

ホールでのリズム遊びを子どもたちは毎回楽しみにしています。最初の頃はみんなの前で行うことにドキドキしていた子も友達の姿を見てきたことで、ある日突然自分から前に出てピアノの音に合わせて動き出しました。その時には周りの子も何も言わずに一緒にやっていたましたが、終わった途端に「〇〇ちゃん凄いね。上手」と拍手と共に、その子が自分から行ったことを褒めていました。自分でできるようになったことと友達からその姿を褒められたことが自信となり、その翌週もピアノの音が鳴ると前に出てきて準備している姿がありました。

最近では0歳児クラスが見に来てくれるようになり、格好いいところを見せてあげようと張り切った後ろ足をまっすぐピンと伸ばしたり、カメのポーズで頑張って足を持ってみようとしたりして取り組んでいます。積み重ねて楽しむことで足の高さや手の動かし方など日に日にレベルアップしています。これからも体を動かすことが楽しめるようリズム遊びを進めていきます。



足の指を床につけて這っています

ぽぷら組（5歳児クラス）

午睡明けのホールで週3日、3、4、5歳児クラスの半数で合同のリズムを行っています。

5歳児の“トンボ”の時は両腕を広げてスピードをつけて走ると、ホールの壁際で座っている3、4歳児のところに風が吹いて勢いがあります。

4歳児の“どんぐり”は床に寝転び、足をまっすぐ上にあげ足を横に倒してから巻き込むように体を回転させていて、



メリハリをつけて動くことが上手です。3歳児は“汽車”になりきって走る時がとても力強く、最後に床に伏せて足指を床に着けてかかとを立てピクリとも動かないところが特徴です。このように各クラスで得意なリズムがあり「上手だね」と言われて刺激し合っています。また、3、4、5歳児の縦割りのグループ3人1組で行う“ことりことり”では、その日一緒になったメンバーで手をつないで鳥かごと小鳥になって飛んでいくので、様々な子ども同士が触れ合う場となっています。

こうした異年齢でのリズムを通して交流が広がり仲が深まっています。互いに刺激し合ってリズムを楽しむ時間を大切にしていきたいと思います。

